

川村ひろあき活動レポート

2016.10.11 Vol.132

川村ひろあき事務所：千葉市花見川区花島町480-6

リオデジャネイロ・オリンピックを視察して参りました!!

◎はじめに．．．。

8月18日に日本を出発し、リオデジャネイロ・オリンピックを視察して参りました。

リオデジャネイロまではドイツ・フランクフルト、スペイン・マドリッド、ブラジル・サンパウロと飛行機を3回乗り換えて計36時間の長旅でした。

現地時間19日に現地に到着し、20日にレスリングの予選とジャパンハウスを視察。21日にバーラ地区のオリンピックパーク、レスリングの決勝、閉会式を視察しました。

出発前、皆様からブラジルの治安やジカ熱などを十分に気を付けるようにとご心配いただきましたが、現地は穏やかなもので、オリンピック会場へは地下鉄とBRT（バス高速輸送システム）で移動しましたし、ホテル周辺（コパカバーナ地区）の散策は夜間を含め、まったく問題ありませんでした。[マスコミ報道が大分過剰だったような気がしました。]

ただ、ブラジルはポルトガル語圏であり英語が通じず街中のトイレ等の表記も英語表記のものが少なく苦労しました。

いよいよ4年後は東京2020オリンピック・パラリンピック開催となります。今回の視察で感じたことを報告させていただきます。

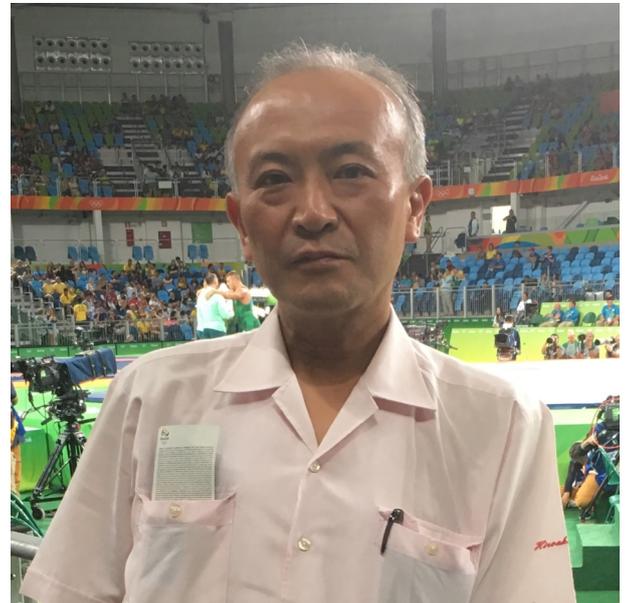
◎会場周辺、交通機関について。

レスリングなどの会場であったバーラ地区のオリンピックパークへは、市内から地下鉄でジェネラル・オゾーリオ駅に行き、そこでBRTを乗り継いで向かいました。バスロータリーには何台ものバスが待機していて、ピストン輸送で対応していました。

4年後は幕張メッセが会場となりますが、果たして現在の海浜幕張駅、幕張本郷駅の改札口、駅前ロータリー。幕張メッセのバスターミナルで対応が可能か不安を覚えました。

また道路も1車線がBRT専用レーンとなっていました。幕張メッセで開催する時、選手団、観客、マスコミ、救急・警備などの導線確保は可能でしょうか。

まずは、インフラ整備が急務だと感じました。



レスリング会場にて [8月20日]



◎ジャパンハウスについて

ジャパンハウスは、東京都が東京2020大会に向けて、日本の文化や伝統、東京の街などを知ってもらうために出店したもので、市内からパーラ地区のオリンピックパークへ向かう途中のアルボラーダ・ターミナルというバスターミナル駅のそばにありました。

ジャパンハウスは、東京2020組織委員会エリアをはじめ、東京都エリア、日本政府エリア、パートナーエリア（企業ブース）、2016大会日本代表選手応援エリア、自治体エリア（道府県ブース）、文化体験エリアと在リオデジャネイロ総領事館連絡室があり、私が伺った20日も大勢の地元の人々で賑わっておりました。

またオリンピック期間中、日本選手がメダルを取ると次の朝、ジャパンハウスのステージでインタビューが行われていたそうです。

4年後の東京2020大会では、来訪者に日本文化を知ってもらうためのジャパンハウスが設置されると思いますが、幕張メッセ周辺にも、来訪者に千葉県・千葉市のみならず「オールちば」を知ってもらう「ちばハウス」を設置したらよいのではないかと感じました。

[帰国後、すぐに千葉市当局に提案しました。]



ジャパンハウスの入り口



日本レク協会のブースにて



ステージでのコンサート風景

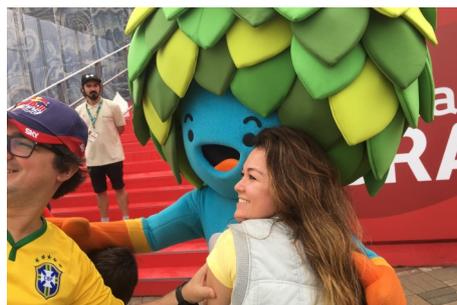
◎東京2020大会開催に向けて

リオデジャネイロ2016大会も終わってみると成功だったと思います。日本は4年後の東京2020大会へ向け準備をしていかなければなりません。

千葉市も案内看板などのインフラ整備等もありますが、都市ボランティア等の人材養成やキャンプ地誘致なども進めていかなければなりません。

また、オリンピック・パラリンピックでは、開催都市が世界中の注目を集めます。会場以外の千葉市の魅力も世界にPRする絶好の機会になると思います。

東京2020大会の成功に向けて、頑張っておりますので、今後共ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



オリンピックパーク・ブラジル応援団ブースの様

◎川村ひろあき事務所

※市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

〒262-0042

千葉市花見川区花島町480-6

TEL: 043-250-1021

FAX: 043-250-0071